



寺島中だより

教育目標

「深く考え自ら学ぶ生徒」「心豊かで思いやりのある生徒」「健やかでたくましい生徒」



『最近、お手伝いしていますか・・・？』

◆早いもので新年度がスタートして三ヶ月が過ぎ、いよいよ子供たちが楽しみにしている夏休みがまもなくやってきます。この三ヶ月間の生徒達の学習や運動会等の学校行事に向かう姿勢、登下校の様子等から、確実に成長していることがうかがえます。

夏休み中は宿題や部活動、水泳教室や補習等がありますが、夏休みだからこそチャレンジできることもあると思います。健康で安全に、充実した夏休みをお過ごし下さい。



◆お手伝いを積極的に！

中学生の皆さんは、最近家のお手伝いをしていますか・・・？。日頃は「学校」、「宿題」、「部活動」、「塾」、「夕食」、「入浴」、そしてあつという間に就寝時間になってしまう、ということから、「お手伝いをする時間なんてない」という声も聞こえてきそうですね。保護者の方も、小学生の頃はよく頼んだけど、中学生になってからは「忙しいから」という理由から、子供に手伝いを頼みずらくなっている方もいるのではないのでしょうか。

ある調査によると、子供の家事（「買い物」や「料理」、「掃除」や「風呂掃除」といった手伝い）への参加率は年々減少しているそうです。「部活動」や「塾」、「習い事」等で子供が家にいる時間が減ったこと、また多機能家電の進化や宅配といった家事を助ける製品やサービスが充実してきたことも影響しているようです。

『お手伝い』は、『子供の生活力を育む格好の機会』と言われていています。ある大学教授によると、「お手伝いは知識や技術が身に付くだけでなく、生活力の基礎になる。達成感を得たり、人の役に立つ経験を重ねたりする中で、自主性や思いやりが培われる」そうです。

まずは、今の自分自身の生活リズムでやれることは何だろうか、少し考えてみてください。お手伝いを継続することは段取りや計画性が身に付き、学習にも役立ちます。また、家族の一員としての責任感も向上しますね。

この夏休みにぜひ意識的に機会を設け、できることから始めてみてください。



◆「平成の怪物」・・・松坂大輔さん

「松坂大輔」と言えば、大リーグでも活躍した元プロ野球選手（投手）である。その松坂選手は横浜高校のエースとして、1998年春夏の甲子園大会を連覇しました。

高校時代の松坂選手は・・・

いつまでも練習をするタイプではないが、集中力は優れていたようです。米国人のトレーナーがいるスポーツジムにも週3日通っていたそうです。高校2年生の夏、神奈川大会準決勝で、自身の暴投によりサヨナラ負けをし挫折を味わいましたが、その後「ワン・フォー・オール（みんなのために）」の気持ちが高まってきたようです。

この後、チームは公式戦44連勝し、松坂選手は「平成の怪物」と呼ばれるようになりました。

こんな松坂選手を育てた渡辺監督は、プロ入りする松坂選手に、5つのアドバイスを送りました。

①自信過剰を戒めよ ②健康に注意せよ ③怪我をしないように心がけよ ④笑顔を絶やさないと ⑤常に感謝の心をもてと。

皆さんだったら、今後どんなことを心がけていきますか

さて、今年の甲子園では、どんなドラマが観られるのでしょうか・・・楽しみです！！

